

情報種別：公開  
会社名：NTTデータ先端技術株式会社  
情報所有者：サイバーセキュリティインテリジェンスセンター

NTTデータ先端技術のセキュリティ

**NTT DATA**  
Trusted Global Innovator

**INTELLILINK セキュリティ情報配信サービス**  
**注目されているセキュリティ事故・事件に関する情報**  
**<2023年09月版 (第46号)> (選り抜き版)**

**2023年9月28日**  
**NTTデータ先端技術株式会社**  
**サイバーセキュリティ事業本部**

# 今回のサマリー

## 影響範囲が広いSnipping Toolの脆弱性

2023年3月24日、マイクロソフトがWindowsのスクリーンショット取得ツール「Snipping Tool」の脆弱性CVE-2023-28303を公開しました。本脆弱性はソフトウェアだけでなく、これまでに保存した画像データにも影響します。本記事では、脆弱性の概要・影響範囲と対策を解説します。

# 影響範囲が広いSnipping Toolの脆弱性

# 1. 脆弱性概要

2023年3月24日、マイクロソフトがWindowsのスクリーンショット取得ツール「Snipping Tool」の脆弱性CVE-2023-28303を公開しました。

本脆弱性の概要は以下の通りです。MicrosoftはWindows 10ではSnipping Toolではなく「切り取り領域とスケッチ」(英語名は「Snip & Sketch」)アプリが影響を受ける製品としてしています。(本記事では対象製品を総称して「Snipping Tool」と記載します。

CVE	CVE-2023-28303
対象製品	<ul style="list-style-type: none"><li>Microsoft Windows 10 「切り取り領域とスケッチ (Snip &amp; Sketch)」 ※</li><li>Microsoft Windows 11 「Snipping Tool」</li></ul>
CVSSv3	3.3
CWE	なし
脆弱性の概要	対象製品を使用して「特定の操作(後述)」で保存した画像に、トリミングなどの編集前の画像データを復元できる。
修正済みバージョン	<ul style="list-style-type: none"><li>Microsoft Windows 10 切り取り領域とスケッチ (Snip &amp; Sketch) → v10.2008.3001.0 およびそれ以降</li><li>Microsoft Windows 11 Snipping Tool → v11.2302.20.0 およびそれ以降</li></ul>

表1. CVE-2023-28303概要

※ Windows 10向けの「Snipping Tool」は影響を受けません。

## 2. 脆弱性の影響を受ける方法と範囲

本脆弱性はSnipping Tool自体ではなく、「特定の操作」で保存した画像データが影響を受けます。これにより、加工前の画像に機密情報が含まれる場合、画像データを公開することで情報漏えいの可能性があります。

### 影響を受ける「特定の操作」

- ① Snipping Toolでスクリーンショットを保存
- ② トリミングなどの加工
- ③ 上書き保存(新規保存は影響を受けない)

### 影響を受けない操作

- 左記「特定の操作」の2で加工した画像データをSnipping Toolで新規保存
- 左記で保存した画像データを他の画像編集ツールで保存

これにより、本脆弱性の影響範囲は過去に脆弱なバージョンのSnipping Toolで特定の操作で保存した全てのファイルにおよびます。

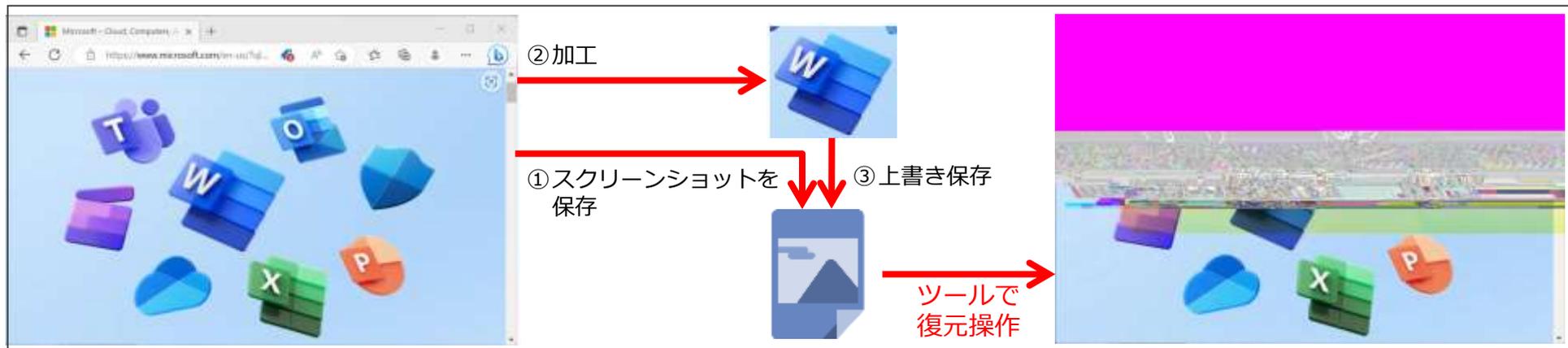


図1. メディアBleepingComputerによるトリミングと復元の検証結果  
出典 : Windows 11 Snipping Tool privacy bug exposes cropped image content

<https://www.bleepingcomputer.com/news/microsoft/windows-11-snipping-tool-privacy-bug-exposes-cropped-image-content/>

### 3. 脆弱性の影響への対策

これまでにSnipping Toolを使用して保存した画像データは、脆弱性の影響を受けている可能性があります。保存した画像データは別の画像編集ツールで上書きすることで、トリミングなどの編集前の画像を削除できます。

**外部へ公開した画像データは注意が必要**です。機密情報が表示された状態で、特定の操作でスクリーンショットを保存した場合は情報漏えいの可能性があるため、**スクリーンショットを使用する関連する業務全てを点検**する必要があります。

Snipping Tool自体はMicrosoft Storeに修正済みバージョンが公開されていますので、アップデートする事で対応できます。

## 4. まとめ

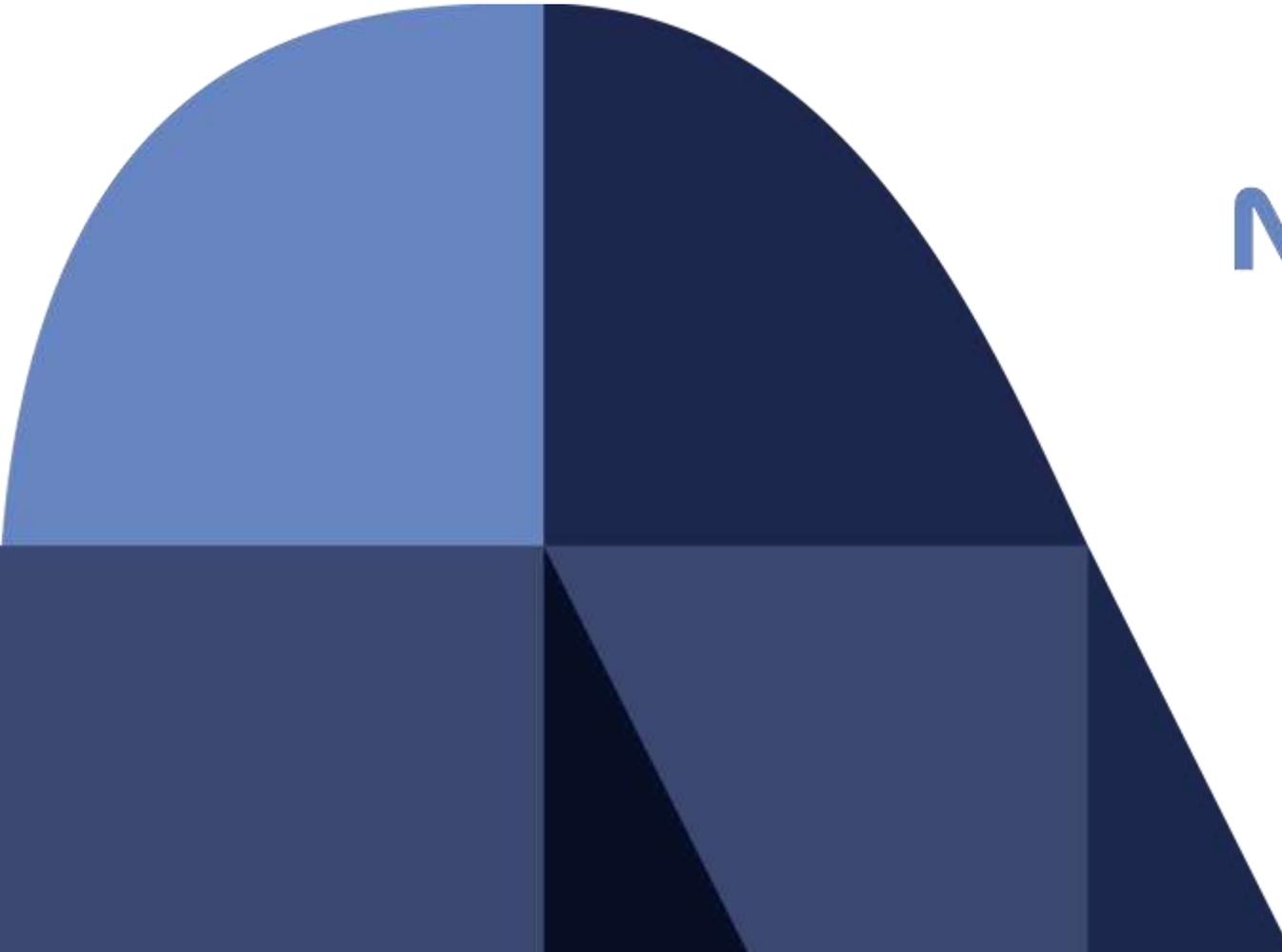
Windows 10の「切り取り領域とスケッチ」アプリとWindows 11の「Snipping Tool」に、トリミングなどの編集前の画像データを復元できる脆弱性が発見されました。本脆弱性は2023年3月24日にCVE-2023-28303として公開され、同日に修正されたバージョンが公開されています。

本脆弱性はこれまでに特定の操作で保存した画像データに影響します。トリミングしたはずの部分の情報を復元できるため情報漏えいの可能性があります。

Snipping Toolのアップデートはもちろん、これまでにSnipping Toolで保存した画像データの点検と是正が必要です。

## 5. 参考URL

- CVE-2023-28303 - セキュリティ更新プログラム ガイド - Microsoft - Windows Snipping Tool の情報漏えいの脆弱性  
<https://msrc.microsoft.com/update-guide/vulnerability/CVE-2023-28303>
- Windows 11 Snipping Tool privacy bug exposes cropped image content  
<https://www.bleepingcomputer.com/news/microsoft/windows-11-snipping-tool-privacy-bug-exposes-cropped-image-content/>



**NTT DATA**  
Trusted Global Innovator